



竜騰虎闘～共に乗り越え 友と勝つ～

第75回 大運動会



9月23日(金)、第75回大運動会が開催されました。今年もコロナ禍での開催となりましたが、なんとかフルバージョンで実施したいとの思いが強く、多くの方々に多大なご協力をいただきました。鹿工大運動会のシンボル、櫓をはじめ大型パネルも4年ぶりに上がりました。テーマは「竜騰虎闘～共に乗り越え 友と勝つ～」のもと、鹿工生の元気の良さと統制のとれた動き、そして団や学年のために本気で闘う姿が見られました。競技の部では5年ぶりに紫団

が頂点へ返り咲きました。応援の部では3年連続で黄団、櫓装飾の部も黄団が制しました。女子の部は圧倒的強さで3年生が優勝し、初競技となった女子百足競走など大変り上りました。また、工業杯は紫団、百足競走杯は白団、3学年クラス対抗リレーは電気技術系1組が制しました。

3年ぶりのフルバージョンの大運動会を終えて、素晴らしい達成感と喜びを覚えました。これぞ「鹿工」という感動は引き継がれていきます。

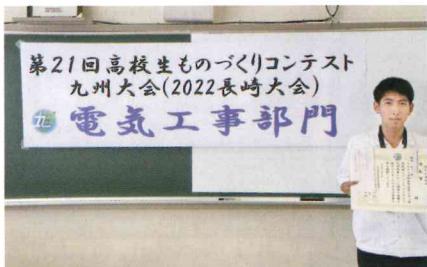
高校生ものづくりコンテスト九州大会に参加して

電気工事

電気技術系3年
神川 太一(緑丘中)

私は、高校生ものづくりコンテスト九州大会（電気工事部門）に出場しました。九州大会から長袖の作業服に変わり、暑い中毎日頑張りました。県大会の反省を活かし、作業の精度を高めるとともに時間短縮に努めました。仲間のサポートや先生の指導がなければ、ここまでできなかつたと思います。大会では、予想外のハプニングもありましたが、日々の練習の成果を発揮することができ、優良賞を受賞することができました。

この経験を活かし、これからも様々な事に挑戦していきたいです。



化学分析

工業化学系2年
雪山 瞬大(天保山中)

2年生で参加しているのは自分だけだろうと緊張しながら臨みましたが、参加者の半数が2年生だったので緊張が和らいだと同時に同級生には負けられないという闘争心が生まれ氣合い十分で挑みました。

大会では想定していなかった硬度の水が出てきたこともあり、焦った場面もありましたが落ち着いて対処し、時間内に終わらせることができました。しかし、3年生の参加者は私より、もっと早く終わらせていて私は入賞することができませんでした。

私は来年にもまだチャンスがあるので、次は九州大会で優勝して全国大会に行けるように最大限の努力をしたいです。また、協力や応援をくれた友人たちや先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。



家具・工芸

インテリア系3年
小田 大魁(明和中)

私は、2年生の後期に技能検定3級を受験し、そこで木工の楽しさを身をもって体験したことから、ものづくりコンテストに登場することを決めました。自分の加工精度には自信がありました。実際に作業をすると思うようにいかず大変でした。しかし、先生や後輩のサポートにより最後まで取り組むことができました。本番当日緊張をしていてもいつものように作業ができるよう道具の置く位置を工夫したり、作業の流れを入念に確認したりして、少しでも最後の微調整に時間が取れるように努力しました。九州大会で結果を残すことはできませんでしたが、貴重な体験をさせていただいた先生方や親に感謝しています。



全国高等学校ロボット競技大会県予選 準優勝

電子機械系3年 大谷 翔太(吉野東中)

私たち機械部は、8月8日(月)に川内商工高校で行われた県高等学校ロボット競技大会に出場しました。2回の試技では多くの観客が見つめる中、自分たちの持てる力をすべて発揮し、準優勝を取ることができ、青森県弘前市で行われる全国大会出場の切符を手に入れることができました。

4月の大会要項発表から機体の開発や製作、競技練習をコツコツと積み重ねてきた成果を出すことができ、部員全員で喜びました。

現在は、10月に行われる全国大会に向かって、得点の向上と競技時間の短縮を目指し、機体の改良と競技練習に余念がありません。みなさん応援よろしくお願ひします。



第46回鹿児島県高等学校音楽コンクール

金管楽器部門 金賞

情報技術系3年 小島 海碧(吉野東中)

私は、8月に第46回鹿児島県高等学校音楽コンクールに出場しました。トロンボーンの先生やピアノの先生にレッスンをしていただき、限られた時間の中で精一杯練習に取り組んできました。その甲斐あって本番では自分の音楽を表現できました。

私が金賞をいただけたのは、顧問の先生やレッスンをしていただいた先生、応援してくれた部活動の素敵な仲間たちのおかげです。そのことを胸に刻み、これからもさらなる高みを目指して突き進んでいきます。

吹奏楽部一同、よりよい音楽を目指して精進してまいりますので、今後も御支援よろしくお願ひいたします。



資格取得 ジュニアマイスター顕彰

電気技術系3年 小幡 天雅(伊敷中)

ジュニアマイスター顕彰制度とは、工業高校の生徒が専門的な知識を身に付けそれを積極的に評価する制度です。今年度の前期申請では、ゴールド24名、シルバー52名、ブロンズ63名、合計139名が認定されました。

私は、鹿児島工業高校に入学した意味を自分の中で何か残そうと、資格取得に励んできました。私は、サッカー部に所属しており、限られた時間の中で取り組むのは大変な面もありましたが、先生方や家族の支えのおかげで結果を残すことが出来ました。資格を取得する事もとても大事ですが、取得まで努力する過程というのも自分の財産になりました。将来の自分の強みになると信じ、これからも資格取得に挑戦し、多くの知識や技術を身に付けていきたいと思います。



インターハイ・世界大会を振り返って

弓道部 優勝

インテリア系2年 宮下 美来(武中)

私たち、女子弓道部は8月6日から9日に徳島県徳島市で行われたインターハイに出場し、優勝しました。昨年、新潟県上越市で行われた全国大会では、予選を通過したものの1回戦敗退という苦い、悔しい結果でした。今回は昨年の借りを返すべく、練習方法を練り直し、試行錯誤を繰り返しました。仲間同士のぶつかり合いや、先輩後輩という関係での悩み、意見の食い違いなど色々な壁にぶつかりました。しかし、顧問の福富先生のご協力、熱心なご指導のもとチームがまとまり、仲を深めることができました。先生とも意見の食い違いがあり、もうダメかもしれないと思いましたが、私たちの特徴である、家族のような絆で快しく乗り越えることができました。私たちがインターハイという大きな舞台で優勝することができたのは福富先生をはじめ、保護者の方々、応援をしてくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。これからは女子が1、2年合わせて3人という少人数ですが、笑顔で快しく毎日成長していきたいです。インターハイ2連覇を目指し頑張ります。本当にありがとうございました。

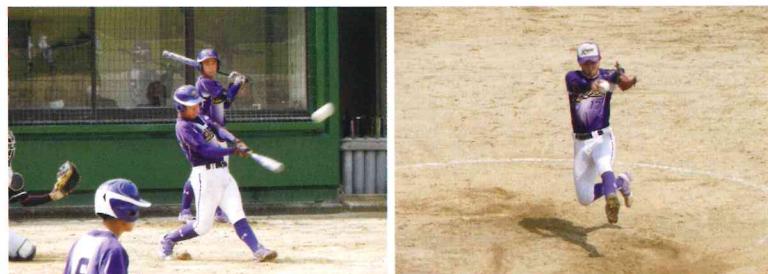


ソフトボール部 第3位

電子機械系3年 松田 琉聖(松元中)
電子機械系3年 松原 匠海(喜入中)

8月19日から高知県高知市で開催されたインターハイに出場しました。2回戦の初戦では、過去の先輩方が全国大会で3度敗れた静岡県の飛龍高校と対戦しました。中盤まで無安打に抑えられていましたが2本の2点本塁打が出て流れを鹿工に引き込み、3安打ながら6対3で勝利しました。3回戦では全国選抜3位の秩父農科高校(埼玉)に10対0のコールド勝ち。準々決勝では2021年3月の全国選抜の決勝で敗れた啓新高校(福井)と対戦し好投手相手から数少ないチャンスを活かし3対1と勝利し最終日まで残りました。

準決勝では、2022年3月の全国選抜決勝で敗れた大村工業(長崎)との対戦でリベンジすべく集中して入った立ち上がりの初回に本塁打と適時打で2点を先制しましたが、中盤に逆転を許し敗退し3位という結果でした。現3年生が臨んだ2回の全国大会では準優勝と3位という結果で悔しい結果でしたが、今まで支えてくださった先生方や保護者、O Bの方々のご支援あっての結果だと思います。この悔しさは後輩たちが晴らしてくれると思います。ご声援ありがとうございました。



アーチェリー部 インターハイ出場

情報技術系2年 西之園令鳳(伊集院中)

私たちは8月9、10日に香川県丸亀市で行われたインターハイに鹿児島県代表として出場しました。

初めての全国の舞台ということもあり、会場の雰囲気に呑まれてしまい予選落ちという結果となってしまいました。準備の期間が十分にあり、練習も重ねてきましたが力が及んでいませんでした。このことは非常に悔やされます。私たちが鹿工アーチェリー部として出場できる公式大会はあと数回です。その限られた中で、今回の雪辱を果たすためにもチーム一丸となって奮闘努力してまいります。今後とも応援の程、よろしくお願ひいたします。



陸上部 世界大会出場

インテリア系3年 下池将多郎(東市来中)

8月上旬にコロンビアのカリで開催されたU20世界陸上競技選手権大会に10000m競歩の日本代表として出場機会をいただきました。初めての日本代表で重圧とワクワクする気持ちが半分ずつでしたが、自分の実力が世界のどれくらいの位置にあるのか確かめたいと考えていました。初めての海外遠征、初めてのトラック10000mではありましたが、メダル獲得を目標に臨みました。しかし結果は17位でした。体調管理がうまくできず、ランキングも2位であっただけにとても悔しいです。ただ、順位がここまで激しく入れ替わる混戦は初めてで、実力の近い選手との競り合いは楽しかったです。そして、もっと駆け引きを学ばなければ勝てないことも学びました。

今後は、10月の栃木国体少年男子5000m競歩で優勝し、卒業までは同種目の全国高校記録を更新して、近い将来もう一度世界の舞台に立ちたいと思います。これからも応援よろしくお願いいたします。



進路状況中間報告

進路指導部

今年度の求人は、7月末の時点で、昨年度の全求人件数を上回り、8月末現在で3,124件とデータのある過去24年で最多の件数となりました。業種別では建設業が昨年よりも大きく増加し1,142件となり、次いで製造業の671件となっています。これも、各方面で活躍されている先輩方のおかげでたくさんの求人をいただいたのだと強く感じるところです。

3年生の進路状況については、就職希望が66.3%、進学希望が33.1%と、昨年度に引き続き、進学希望の生徒が増える結果となりました。これから受験する生徒は、自分の進路実現に向けて、絶対に合格する、という強い気持ちで受験に取り組んで欲しいです。生徒の皆さん、健闘を祈ります。

【過去3年間の求人件数】 【件】

年度	R2	R3	R4
県外	2,118	2,198	2,388
県内	537	653	736
合計	2,655	2,851	3,124

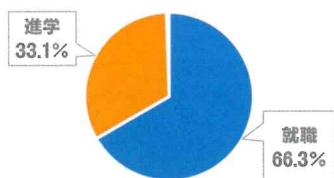
R2,3は最終
R4は8月31日現在

【業種別の求人件数】 【件】

業種	R3	R4
建設業	1,034	1,142
製造業	610	671
電気・ガス・情報	76	81
運輸	251	276
卸売業・小売業	218	244
サービス業	226	242
その他	436	468

R3は最終
R4は8月31日現在

【就職と進学の希望割合】



小学生親子ものづくり学習会

本年度の「小学生親子ものづくり学習会」が8月1日(月)～18日(木)にかけ延べ9日間行われました。新型コロナウイルス感染症が心配でしたが、37組約80名の参加があり、どうにか無事に開催することができました。

参加者は7つのコース（①オリジナルクロック、②フルカラーLED、③ロボットプログラム、④七宝焼きキーホルダー、⑤椅子、⑥植木鉢、⑦写真立て）に分かれ、それぞれの制作活動に取り組みました。児童からは、「学校の宿題にもついていくし、楽しくできてよかったです。」「楽しくロボットができるよかったです。また来たいです。」保護者からは、「先生や高校生のお兄さんたちから丁寧に教えてもらい、作り方も迷わずに進められた。」など、嬉しい感想をいただきました。

ものづくりを通して親子がふれあい、協力して1つの作品を完成させることができ、笑顔あふれる学習会になりました。これからも、鹿工の魅力発信のために継続していきたいと思います。



中学生日帰り体験入学

8月2日(火)・25日(木)に中学生日帰り体験入学を開催しました。合計543人の中学生が、学校・各系紹介を受けた後、部活動体験・見学をしました。学校・各系紹介では、「綺麗で大きくて設備も整っていていい学校だった。」「教室が多くて覚えられなかった。」「入学して楽しい高校生活を送り自分の夢に向かって頑張りたいと思える体験入学でした。」など、本校の規模に驚きつつも期待をしている様子が伺えました。部活動体験・見学では、「中学校とは違う高校生の真面目な雰囲気があつて自分は成長が必要だと思った。」「礼儀など身に付くと思った。」「先生方や先輩方が優しく接してくれて楽しかった。」など、部活動の雰囲気を肌で感じてもらえたようです。

コロナ禍ということもあり、参加者には検温やマスク着用等、感染防止対策に協力いただき、無事当初予定の2回を実施することができました。

本校体験入学に参加を希望してくれた中学生が、鹿工への興味・関心を強め、進路選択の一つとして考えていただければ幸いです。



10・11月
の
行事予定

10月12日(水)～14日(金) 中間考査
10月28日(金)～29日(土) 鹿工祭
11月9日(水)～11日(金) インターンシップ(2年生)

11月11日(金)
11月14日(月)～18日(金)
11月21日(月)～25日(金)

工業クラブ連盟生徒発表大会
自宅学習強化週間
期末考査

